

ミュージアム川崎ランチタイム
コンサートとバックヤード

音楽のまち川崎の魅力を楽しむ

2019/11/05

支援する会事務局 根岸雅明



2019.11.06

ミュージア川崎ランチタイムコンサートとバックヤードツアーの記録

【概要】川崎の大きな魅力のひとつに音楽のまちかわさきがあります。9月に新百合ヶ丘の昭和音楽大学の施設を見学させていただきました。私たちはより音楽の世界を知る一助になりました。その流れで今回はさらにミュージア川崎の定期的に演奏されているランチタイムコンサートとバックヤード見学のツアーを実施しました。

より一層市民の方々に魅力的な音楽の世界に触れて楽しむ機会を提供できたのではないかと思います。

ランチタイムコンサートではパイプオルガンとトランペットの共演を堪能し、終演後の演奏者のトークショーを楽しみました。演者の生の声を聴くことで、どんな思いでまたどんな考えで演奏しているのがよくわかり、より音楽に親しみがわきました。

バックヤードの見学ではなんとパイプオルガンに実際に触って音を出すことも皆さん体験することができました。こんなことはあり得ない貴重な経験でした。ホール、音響室、照明室、舞台操作室、演者の控室など各施設の説明を聞いて、バックヤードの仕組みはこのようになっているのかということを知ることができました。

パイプオルガン聴き比べ3 DAYSが11月20日に横浜みなとみらいホールで開催されるとの説明があり行ってみようかなと熱い思いが沸いてきました。ツアーを企画された皆様、ミュージアのバックヤードを案内していただいた皆様に感謝です。ありがとうございました。

有意義でかつ勉強になった見学会でした。以下はその記録です。

【日付】令和元年11月5日(火) 11:20~16:00(途中休憩含む)

【目的】音楽のまち川崎の魅力を楽しむ

【参加者数】18人

【場所】ミュージア川崎シンホニーホール

川崎市幸区大宮町1310

【コース概要】ランチタイムコンサート

パイプオルガンとトランペットの共演

パイプオルガン演奏…都築由理江

トランペット演奏……服部孝也

曲目

シャルパンティエ：テ・デウムから前奏曲 トランペットとの共演

ポエルマン：ゴシック組曲からノートルダムの祈り トランペットとの共演

J S バッハ：幻想曲ト長調BWV 752 (ピエス・ドルグ) パイプオルガン

エベン：シャガールの窓から 金の窓 トランペットとの共演

終演後、アフタートークショー

休憩

バックヤード見学

【感想】バックヤード見学で一番印象的でしたのは実際にパイプオルガンに触れることができたことでした。パイプオルガンはピアノのように鍵盤を弾いて様々なパイプに送風して音を出すのですが、左右にある装置（ストップ）を操作すると管弦（トランペットのような管楽器やバイオリンのような弦楽器）の音色や、笛や太鼓の音まで響かせることを知りとても驚きました。また足の鍵盤や 4 段もある鍵盤を弾いて音色を調整して音楽を奏するので本当に人間技ではないなという思いで説明を聞き入りました。

ここミュゼ川崎のパイプオルガンはスイスのクーン社の製作だそうです。同じものはひとつもなく単品生産でここではないパイプオルガンだそうです。

オーケストラで演奏されるとパイプオルガンはほかの楽器に包まれてそんなに目立たないそうです。今回の演奏はパイプオルガンに特化した演奏だったのでその音色がよくわかりました。

パイプオルガンは楽器の王様だと言われているそうですが、体験して目に触れて手で触り音を出すことで本当だなと思いました。オールマイティの楽器ですね。

大いにパイプオルガンを知ったツアーでした。貴重な体験ができてとても楽しかったです。ありがとうございました。

【写真】



ミュゼの概要と演奏活動状況等について説明を受ける。



演奏者や指揮者のサインがありました。



ホール正面にあるパイプオルガンの前で説明をお聞きする。



足で踏む鍵盤と手で弾く鍵盤



左右にあるストップという装置。これ
を操作してバイオリンやトランペ
ットや笛や太鼓の音を出す。



さまざまな形のパイプが配列されている。こ
のパイプに送風して音を出すそうです。パイ
プが5,000本ほどあるそうです。驚きです。



実際に手で触れて鍵盤を弾いている皆
さん。左手にあるストップで音色を変
えてびっくりの様子です。凄い、そし
ていい体験でした。



パイプオルガン側からみたホールの観客席



ホール舞台の照明操作を体験する皆さん



舞台などを操作するコンピューター機器。



パイプオルガン側をみたホールの様子



舞台のせり上がり状況とダウンしてフラットになった状況



演者の控室



ピアノ保管室。椅子がいくつかありましたが硬い椅子、柔らかい椅子など演者の好みにも配慮されているようです。



楽器を搬入搬出するエレベーター。



貴重な体験をした楽しいバックヤード見学会でした。
ありがとうございました。